「もしものとき」は明日かもしれない

問い合わせ 総務課 情報防災グループ ☎ 27-2481

## 災のページ

## ペットの防災対策について



災害は突然起こります。まずは、ご自身の安全を確保してください。飼 い主が無事でいなければペットの安全を守ることができません。ペットに 関する防災の基本は、飼い主が責任をもって対応することです。避難が必 要な場合は、ペットとの同行避難が重要です。

同行避難とは、ペットと避難所まで安全に避難することです。人とペッ トが、避難所の同一の空間で居住できることを意味するものではありませ ん。ペットと同行避難する際は、必ずケージを持参しましょう。状況によっ ては、同行避難が難しいこともあり、万一の時の預かり先を確保しておく ことも大切です。

## ペットの防災対策

- とペットの安全につながります。
- ○ハザードマップなどを確認し、避難所までの経 路や所要時間を確かめておきましょう。
- ○さまざまな場面を想定して、あらかじめ家族や 近隣住民、飼い主仲間と防災について話し合っ ておきましょう。
- ○災害が発生したら、まず自分の身の安全を確保し、 落ち着いてからペットの安全を守りましょう。
- ○避難所は、多様な人や動物が集まります。知ら ない人や他の動物がいてもむやみに吠えないよ うにしつけし、ケージやキャリーバッグに慣ら しておきましょう。
- ○一緒に連れて避難できる頭数は限られています。 適正な頭数を飼いましょう。

- ○災害に対し、住まいを強くしておくことが、人 ○猫は室内で飼いましょう。猫が外にいると、災 害が起きても呼び戻しができず、避難の時に連 れていけません。
  - ○不妊去勢をしておくと、多くのペットと一緒の 避難所などでも、繁殖などの争いやストレスを 軽減することができます。
  - ○大型犬や病気のペット、自力で動けない高齢ペ ットを飼っている場合は、カートや補助具など 移動手段を考えておきましょう。
  - ○ワクチン接種など健康管理に注意し、動物の体 を清潔に保って必要なしつけをしておきましょう。
  - ○ペットと離ればなれになった時のため、迷子札 とマイクロチップなど、普段から身元を示す証 票を複数着けましょう。

## ペット用の備蓄品

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

命や健康に関わるもの

療法食・薬、フード・水 (5日分以上)、予備の首輪、リード (伸びないもの)、 食器、ガムテープ(ゲージの補修など多用途に使用可能)

飼い主や動物の情報

飼い主の連絡先、動物の写真、ワクチン接種状況、既往症・健康状態、 かかりつけの動物病院など

ペットシーツ、排せつ物の処理用具、トイレ用品(猫の場合は使い慣れた トイレ砂)、タオル・ブラシ、おもちゃ、「洗濯ネット」(猫の場合)など

♪下りチャイム音♪

## 全国一斉情報伝達試験

地震・津波や武力攻撃などの発生時に備え、次のとおり情 報伝達試験を行います。

- ・厚真町以外の地域でも、さまざまな手段で情報伝達試 験が行われます。
- ・携帯電話やスマートフォンなどへの伝達はありません。

### 水 10月7日

※災害等の発生により、試験を中止する場合があります。

Jアラートの自動起動機を使用して防災行政無線・屋 外拡声器から放送される標準メッセージは次のとおりです。 ♪上りチャイム音♪ 「これは、Jアラートのテストです」×3回 「こちらは、ぼうさいあつまです」

問い合わせ 総務課 情報防災グループ ☎ 27-2481

### 里・高丘・吉野) を対象にした、北部の4地区(幌内・富災害により甚大な被害を受け 復胆 めの主まっった。これではあたい地域を実現させるたった。それであることを支え、災 けて安全な暮らしを支え、災・計画では、今後の復興に向 町は、 「北部4地区地域再生計 部 を策定してい 4 胆振東部地震による 地 区地域再生計 復興通 ます 部 信震

で構成しています。エリア別踏まえたエリア別の再生計画地域再生方針と、その方針を北部4地区全体に共通する の再生計画は、地区で構成しています。 に分けて 方ます、 (道路、 めの する課題を考慮し、 〈計画の構成〉 と富里・高丘・吉野エリア )住ま 。事業手法などを示 避難所など) 避難所など)の整備6いや社会生活基盤 います 地区間で共通 幌内工

## 北部4地区地域再生方針と重点施策

(化し、災害に強い安全・安心な道路を確保しま北部4地区から厚真市街地に至る道路の機能を また、

、災害時の避難場所や避難所の見直災害に強い安全・安心な道路を確保

をま

【重点施策】 行います。

# 持続・発展に向けた支援)災害時の避難施設整備とコミュニテ 避難路の複線化と機能強化 (都市防災総合推進事業)

の

を実施します。ミュニティの持続・発展に向けた拠点整備と支援併せて各地区を取り巻く状況の変化を考慮し、コ 地区の一時避難所となる各施設が被災 災害時に避難可能な施設を再建します。 (仮称)北部地域防災拠点施設の建設 した状況

を踏まえ、

が抱える課題の変化などに応

'。 今 後、

適時見直しを行

【重点施策】

なお、

計画内容は、

# ○地域で住み続けられる住まい の 確

画

つ

【重点施策】集落内における町有対応を中心に支援をしていきませ住まいの再建のめどが立てられる 住み慣れ れる住ま た地域でこれからも安心して住み続け いを確保するとともに、 めどが立てられるように個別での確保するとともに、すべての方が いきます。

○災害に強い、 (小規模住宅地区改良事業) 安全・安心な生活基盤づくり 有住宅の建設

凡例 主要な道路 河川 · 水路 その他の道路 建築物 水面 字堺 高丘 集落内における町有住宅の建設 ・幌内マナビィハウスを中心に集落の 中心となるゾーンの形成 (仮称)北部地域防災拠点施設の整備 避難場所と集会所を兼ねた北部地域の 防災拠点の建設 幌内 富里浄水場 幌内マナビィハウス (道路新設を検討中) 吉野 避難路の複線化と機能強化 幌内地区から厚真市街地への避難路の 複線化と一部道路の拡幅

今年度中に策定する第3期計 **27** 4月1日に 9

画の進展状況について紹介します。計画に掲載している事業の詳細や、今真町復旧・復興計画(第2期」を策定し町では、胆振東部地震からの復旧・復

復興計画第2期」を策定・胆振東部地震からの復旧・気

・復興を目指

しま

〔まちづくり推進課 地方創生・復旧復興計画策定室

進課で配布しています。印刷した冊子をまちづくり推からダウンロードできるほか、計画本編は町ホームページ



広報あつま 広報あつま R 2.9